

すみよし



2010 年 被昇天号 第 181 号

聖句

いちじくの木から教えを学びなさい。

枝が柔らかくなり、葉が伸びると、夏の近づいたことが分かる。

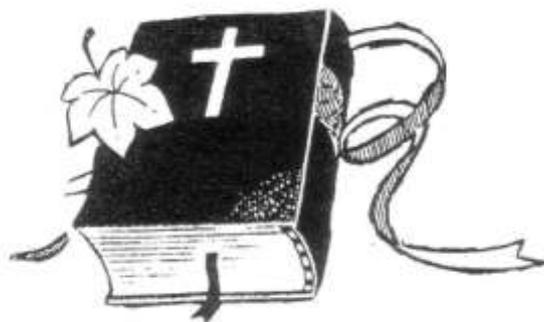
それと同じように、あなたがたは、これらのことが起こるのを見たら、
人の子が戸口に近づいていると悟りなさい。

はっきり言うておく。

これらのことがみな起こるまでは、この時代は決して滅びない。

天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。

マルコによる福音書 13・28-31



[目次](#)

《かあさん ありがとう》

赤波江 豊 神父

私が前の教会にいた時の話です。ある年、成人式のお祝いが教会でありました。該当者には事前に招待状を出しておいたのですが、当日出席したのは一人の浪人生の男の子でした。私はミサの中でお祈りして、プレゼントを渡した後、彼に「今日来てくださった皆さんに何か一言挨拶してくれませんか」と言いました。

彼は 5 秒ほどの沈黙の後、しっかりした声で

「かあさん、ありがとう」

「とうさん、これからもよろしく」

「皆さん、ありがとうございました」

その時教会全体が大変深い感動につつまれてしまいました。母親は思わず顔を覆って泣き、他の人も何人か目頭をおさえていました。私はこれほど単純で、これほど素晴らしい挨拶を聞いたことがありませんでした。

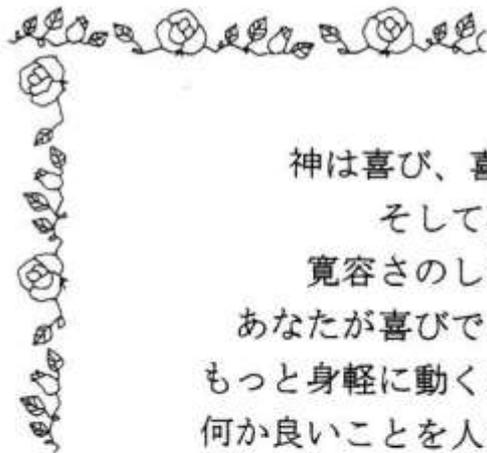
私はミサの前に挨拶を頼んだわけではありませんし、彼も用意していたわけではなく、とっさに出た言葉だったのでしょう。「かあさん、ありがとう」「とうさん、これからもよろしく」「皆さん、ありがとうございました」・文字にすれば何でもないことかも知れませんが、大勢の信者さんの前で言えるということは何という素晴らしい神の業でしょうか。

ミサ後、父親に「今日息子さん素晴らしい挨拶をしましたね」と言うと、父親は少しうつむいて「普段はあんなことをいうような子じゃないんですけど・・・」と静かに答えました。私にはその家庭の状況が想像できます。彼はごく普通の男の子で、家庭もごく一般的な家庭です。父親は口数は多くはありませんが、不平不満をあまり言わない人で、教会の困難な時期に信徒会長を引き受け、その後も教会の仕事を黙々と続けておられます。母親は韓国出身の人で、一家は昔つらいこともあったと聞いています。子供は普段何も言わなくても親の姿をよく見えています。それまで心に秘めていたその親への思いが、まるで打ち上げ花火のように、この日ぱっとはじけたのでしょうか。

その日の午後、少し背中を丸めて教会から家に帰る父親の後ろ姿を私はじっと見

ていました。その夜は一家でささやかなお祝いの鍋をしたそうです。その日の教会の感動的な出来事について家族で話題になったかどうか知りません。しかし、おそらくその日の出来事は皆心に秘めて、まるでその一日何事もなかったかのように鍋を囲んだのではないかと思います。そして両親は床に就く前にこの子を授かったことを沈黙の内に心から神に感謝したことでしょう。その日の出来事は私にとっても生涯忘れることのできないものになりましたし、また私はあれに優る言葉を聴くことはもうないでしょう。

その後彼は大学を卒業して就職し、教会にいつも来ていることだけは聞いていましたが、それ以上のことは知りませんでした。しかし最近主任司祭を通して彼が来年神学校に行くことを決意したと聞きました。



神は喜び、喜びは祈り。
そして喜びは
寛容さのしるしです。
あなたが喜びでいっぱいの時、
もっと身軽に動くことができるし、
何か良いことを人のためにしたい、
と思うものです。
喜びは、
今ここにおられる神との
一致のしるしなのです。

「マザー・テレサ 日々のことば」より



[目次](#)

《目 次》

☆ 聖句	2
☆ 巻頭 赤波江 豊神父	3
☆ 目次	5
☆ 小教区総会議事録	6
☆ 新任挨拶 HN	9
☆ 祝・ご受洗、初聖体	(10)
☆ 神戸東ブロック大会	11
☆ バーベキュー大会	12
☆ 教会学校キャンプ	(14)
☆ 家庭集会	(17)
☆ レジオ マリエはこれから MT	14
☆ 仁川教会の皆様をお迎えして	16
☆ 図書コーナーより	17
☆ 信徒動静	(22)
☆ 教会日誌	(23)
☆ 後記	18

題 字： 山際 純子
表紙画： 前田 季彩恵

太字は本ホームページ掲載の PDF ファイルのページ、カッコ付きは原本のページを表す

《 小教区総会議事録 》

2010年4月18日(日) 10:45~12:15 於・聖堂 出席者 66名

ミサ中で典礼チームリーダー交代 (K さん⇒HN さん) のお知らせと各氏挨拶、並びに現評議会メンバーの紹介と各氏の挨拶があった。

(1) はじめの挨拶 並びに 司会進行 評議会議長

住吉教会には前評議会議長によって作成された小教区教会規程があります。下記が内容の要旨です。(全文は2008年被昇天号・175号に掲載)

- ☆ 総会は、司祭、修道者、委員長、信徒が参加し、1年に1回開かれる。
- ☆ 住吉教会評議会規約に規定された教会活動を推進する為に開かれる。
- ☆ 重要な事は 「出席者は議事運営に従い、意見を述べる事が出来る。議長は意見を尊重し、評議会における教会活動推進の糧としなければならない。」
・・・皆様の意見を尊重するという事になっています。
- ☆ 評議会決定、司祭承認が行われた事項について話し合い、広く理解を深める。

話し合い事項としては

- ・ 教区、地区、小教区の福音宣教方針・司牧について
- ・ 小教区評議会規約改正
- ・ 決算報告、予算案
- ・ 事業報告、事業計画案
- ・ 新役員、新評議員改選について
- ・ 住吉教会、星の園幼稚園大規模修繕について
- ・ その他重要事項

この新規約は、2008年4月6日に発効されました。(その時点で1997年3月16日発効の信徒会規約は廃止。) この新規約にそって、本日の総会は皆様に評議会決定事項を説明し、ご意見を聞くという事で進めていきたいと思ひます。

(2) 2009年度 決算報告 Kh 評議会副議長 (財務代表)

資料に基き説明が行われた後

- ★ 決算報告が承認された
- ★ 4月17日(土) 東ブロック (住吉・神戸中央・北) 三教会合同会計監査が三田教会にて行われ、住吉は神戸中央教会の監査を受けた結果、内容は適正・妥当であると認められた旨、監事の Tn 氏より報告された。

(3) 2010年度 予算案

資料に基き説明が行われた後、次の質問があった。

質問 特別会計収入部の特別目的預金(教会建設)の積み立て目的とは何か?

回答 ・ Tk 前財務代表

特別会計の特別目的預金は、教会建設にあたって 4 年間限定で集めた残金がここに記された額あるという事です。将来的にメンテナンス、営繕の為の項目になる可能性があります。

- ・預金名目を修繕預金等に変更してはどうか・・・との提案があった。 後、
★ 予算案が承認された

(4) 2009 年度 事業報告

2009 年度事業報告は教会報「すみよし」各号の【教会日誌】、並びに「住吉教会ホームページ」に掲載してあります。ご参照ください。

(5) 2010 年度 事業計画

2010 年度活動計画表資料を基に、各チーム長から内容説明、協力要請がなされた。
(2010 年度小教区評議会運営体制、並びに活動計画資料は後続ページに掲載。)

2010 年度 事業計画として

- 4/24～4/25 サムエル・ナイト・・・東ブロック合同(住吉・神戸中央・六甲) 於・神戸中央
- 6/13 東ブロック大会
- 7/27～28 教会学校キャンプ (六甲山自然の家)
- 8/6～9 中高生長崎巡礼
- 8/6 日本カトリック平和旬間 (大阪カテドラル)
- 8/20 侍者錬成会
- 8/30 宣教司牧者研修会・黙想会
- 9/19 敬老祝い会
- 10/17 セニョール・デ・ロス・ミラグロス (バイリンガルミサ)
- 10/31 教区典礼研修会・住吉教会バザー
- 11/1 祈念祭
- 11/14 七・五・三
- 12/18 教会学校クリスマス会
- 2011・1/16 教区新生の日
- 1/18～25 キリスト教一致祈禱週間
- 2/5 日本 26 聖人殉教者 (パウロ三木)

(6) ご意見箱から (ご意見の要旨と答え)

- ☆ 連絡網整備の要請・・・各地区ごとの連絡網になるが、整備に努力します。
- ☆ 信徒名簿を作ってほしい・・・個人情報関係で、現在発行は難しい。
- ☆ 聖堂内私語、会話の自粛を求む・・・主日ミサ前 9 時からロザリオの祈りをしている。
9 時 25 分頃に終わった後の私語を自粛し、ミサ直前は心静かに祈りましょう。
- ☆ 困った人に援助を・・・地区やご近所でどのように助け合えるか・・・検討中。
- ☆ 新型インフルエンザ対策は?・・・今のところは教区からの 3 つの通達を守っている。

- ☆ 荷物掛けを座席の数だけ取り付けて欲しい・・・後の座席の分も取り付け完了。
- ☆ 教会に高い鐘楼の十字架を設置希望・・・外部から見て教会とわかるようにとの事だが皆様のご意見をいただきたい。
- ☆ 夜ミサの時間を早めてほしい・・・評議会で神父様と相談の結果 19 時に変更済。
- ☆ 1/17 日の巡礼ウオーク時に聖堂その他への案内係りが不足していた・・・普段から信徒各々が、席案内など進んで行う配慮をもち、共同体づくりをすすめてほしい。
- ☆ 大祝日のパーティー当番について・・・毎年、同じ地区が当らないようにローテーションを検討する。又、当番地区だけでなく、他地区からも手伝い人をだす。
- ☆ ミサ中の携帯電話について・・・各々が迷惑を掛けないようにマナー厳守を再確認。
- ☆ 炊出し参加について・・・社会活動チームだけでなく、教会全体の重要な仕事として協力を続ける。

(7) 質疑・応答・意見・要望

M さん： 教会に信徒名簿を常設し、必要な時に電話番号を教えてもらえないか。

議長： 今の所、名簿作成、常設は非常に難しい。普段から自分の活動に必要な人の連絡方法は自分で調べておいて欲しい。

(8) 赤波江神父様のお言葉と終わりの祈り

皆さん、今日はお集まりくださりありがとうございます。チームの皆さん、いつも心から本当に感謝しています。皆さんの奉仕でこの教会は成り立っています。

最近嬉しく思い、希望を感じるのは子供の事。幼稚園の存在が非常に大きいです。教会学校ともつながりがあり、今年も 17 名の子供達が新しく入ってきました。又中高生がだんだんミサに集まるようになってきたのです。他教会では中高生、子供の事では絶望的な意見が多い中、この教会では将来に希望があり非常に嬉しい事です。

昨年の堅信式の時より集まりだし、「教会が楽しい」と言っています。最近の教会では奇跡的な事であり、「何か自分達で出来る事はないだろうか・・・」という意見も出てきました。皆さんも中高生にしてもらいたいことがあれば遠慮なく言ってください。(この時、全館放送で聞いていた？中高生が入ってきた)⇒話がつつぬけだったのですね。⇒(一同、笑い拍手)

この中の 2 人はまだ洗礼を受けていないが、教会に来てくれるのは嬉しいこと。皆さん、私達には明るい未来があります。建物の事、経済的な事、色々問題があっても未来があるという事は嬉しい事です。これからもよろしく願いいたします。

お祈りとして

あなたの息を送って下さい。全てが新たになるように。

あなたの息を送って下さい。全てが新たになるように。

父と子と聖霊の御名によってアーメン。

[目次](#)

《典礼チームリーダー新任挨拶》

HN

このたび K さんから、典礼チームのリーダーとしての役目を引き継ぐことになりました。今までは勤めが忙しいことを理由に、教会のお仕事を他の皆さんにお任せして、ほとんど何もしてこなかったもので、いざお引き受けしてみるとわからないことが多くて、戸惑ってばかりいます。

6月の月報でチームの紹介として載せた文と重複しますが、典礼チームは年間を通してミサ典礼の充実をはかり、共同体が一致して神への賛美と祈りを捧げることができるよう、次のような仕事を担っています。

- (1) ミサの準備と後片付け
- (2) 照明、空調、マイク等の確認
- (3) 聖体奉仕者、先唱者、朗読者、答唱歌唱者の当番表作成と依頼
- (4) 『聖書と典礼』、ホスチア、ブドウ酒、ロウソク、特別献金袋(復活祭、降誕祭、被昇天など)の注文および準備
- (5) 祭服、祭壇布、清浄布、聖体布の管理
- (6) 結婚式、葬儀告別式の準備と後片付け
- (7) 聖歌の選曲と練習
- (8) 聖歌集・聖歌プリントの点検と補充および整理
- (9) 黙想会の企画、考案
- (10) 七五三、成人式などのお祝いのお知らせと準備
- (11) 司牧チームとの合同例会開催(毎月第2火曜日)
- (12) 主日、祝日、追悼祭などの盛花準備

この中で(1)と(2)のミサの準備と(5)の祭服などの管理は、以前からレジオの方たちが中心になって下さっていますので、ご好意にあまえて引き続きお願いしています。(3)の聖体奉仕などの当番ですが、現在50余名の方たちに登録して頂いています。できるだけたくさんの方々に、公平に分担していただくように心がけていますが、人数が限られていますので、どうしても何人かの方にかたよってしまいがちです。中でも聖書朗読は、改めて聖書を深く味わう良い機会になりますので、1人でも多くの方がすすんで申し出てくださることを希望しています。

(7)の聖歌の練習は、毎週火曜日の午前10時15分から聖堂で行っています。典礼聖歌は音楽として多少なじみにくいところがありますが、言葉を大切に作られていますので、歌っているうちにその良さが少しずつわかってくるような気がします。もし歌うことに興味がありましたら、ぜひ遠慮なくいつでもご参加ください。また時間的にこの練習に参加できなくても、ミサ中に答唱詩篇を1人で歌ってくださる方がおられましたら、ぜひお申し出ください。また、聖歌の選曲も聖歌隊で行っていますが、どうしてもかたよってしまいがちです。特にミサ曲はいつも決まった2種類に限られていますので、他の教会に行った時に違うミサ曲を歌っていて、戸惑われること

[目次](#)

もあるかもしれません。これらの点などでも何かご意見がありましたら、ご遠慮なくお寄せください。

(1 2)の盛花に関しては、土曜日の聖堂のお掃除当番の方をお願いしています。ただ、降誕祭や復活祭などの祝日は典礼チームで準備しています。花は生けたあとも水を入れ替えたりする必要がありますので、少しでも花に興味があって協力して下さる方がおられましたら、ぜひ声をかけてください。

チームを引き継いでからおよそ3ヶ月たちました。その間はあまり大きな行事もなく、前任者やまわりのメンバーに助けられてなんとかやってきましたが、これから被昇天や敬老の日、降誕祭、復活祭と大きな祝祭日が続きます。加齢とともに、新しいことを身に付けたり記憶したりすることが大変難しくなっていますので、どうぞお祈りとご協力を今後ともよろしくお願いします。

ミサゴ



今年5月から、ミサゴを再開いたしました。

第二・四日曜日のミサのあとにしております。(8月はお休みです)

皆さま、どうぞご利用ください。

[目次](#)

《神戸地区東ブロック大会》

テーマ『交わり』『一致』

6月13日神戸地区東ブロック大会（神戸中央、六甲、住吉）が開催されました。（2年に一度地区大会と東ブロック大会が交互に開かれています）

今回は全体で130名、住吉の参加者は44名。雨天になりましたが子供達は午前中は10班に分かれて王子動物園の中でウオークラリーを楽しみ、そこから歩いて小さき花の園幼稚園（以前灘教会があったところ）へ移動。持参のおにぎりとお配られたチキン・ナゲットでランチを済ませてからラリーのクイズの答えあわせで盛り上がりました。午後は幼稚園の聖堂で六甲の片柳神父様、赤波江神父様のミサが行われ、子供達は床の上に座って大人はそのまわりの椅子に座って与りましたが、お互いに親しみを持って「交わり」「一致」の雰囲気があったと思います。



[目次](#)

《バーベキュー大会》

7 月 25 日(日)午後 5 時から園庭で恒例のバーベキュー大会が行われました。
出席者は 103 名。

たくさんの神父様方、シスター方、中央教会、六甲教会の方々、赤波江神父様
が以前司牧なさっていた豊中教会からもお二人の参加があり、うれしかったです。
親子孫三代でご参加のファミリーもあり、賑やかで楽しい写真をご覧ください。

(編集部)





目次

《 レジオ マリエは これから 》

MT

1985年、レジオ マリエ活動会員に入会の誓約式から早や25年の私は、すばらしい御教えの道を、共に歩ませて頂ける幸せを感謝しております。レジオに入会させていただかなかっただら、今の私はなかったと確信しています。いつの間にか82年の齢を重ねても、常に共にいてくださる、イエスさま・恵みあふれるマリアさまのお導きに従って過ごさせていただき感謝の日々なのです。神様は、あちこちの手術をしても、レジオのお仕事をさせていただける身体に快復させてくださり、会員に励まされ、ともに祈りつつお仕事をさせていただける喜びは一入です。

月1回の、大阪セナートス（全国レジオ マリエの本部）集会に参加し、先日、年4回発行される、**レジオ マリエ 通信** 第34号（2010年春号）の傘木神父様のアロクチオ（お説教）を読み、会員としての自覚をあらたにいたしましたので、この記事をお読みになり、レジオの活動会員・賛助会員に入会して下さるようお勧めいたします。



レジオ マリエ通信 第34号より

「レジオ マリエは これから」 ～抜粋～

傘木澄男神父様
大阪教区豊中教会主任司祭

レジオマリエの印象には、二つのことがあるようです。「レジオは古い。時代の流れに沿っていない」というのと、「小教区の新しい体制に溶け込めないでいる」というものです。それに私たちはどのように応えればよいのでしょうか。

今の新しい提要（辞書）は、読んでみれば分かることですが、公会議の教説を十分採り入れて内容を刷新し、現代化しています。確かに伝統的な霊性や用語・表現などが目について古いという印象を与えますが、レジオマリエは長い歴史と確かな伝統を持っているため、それと現代教会の動向との間に完全には溶け合わないものが表れるのは避けられませんが、でもそれはレジオマリエが教会の教えと精神からずれているということでは決してありません。提要は自己の独自性を生かしながら公会議の線にできるだけ一致しようと誠実に努めています。

聖母崇敬は教会の信仰に深く根ざす最も重要な信心です。レジオマリエはその聖母崇敬のさまざまな信心業の中で特別重要な地位を占めており、一信心業に過ぎないものではなく、伝統的に優れた使徒職の団体（信心会）として教会から高い評価を受け、推奨されてきました。こんにち私たちはレジオマリエのマリア的霊性の精神を、特別に「すべてを心に納めて思い巡らして」おられるマリア様のうちに見出したいと思えます。マリアはわが身に起こったすべての出来事を心に納めて、それら一つひとつの背後に隠された神のみ旨とみ摂理を思い巡らしながら、ひたすらそのお計らいを信じ、希望をもって信仰の歩みを

続けて行かれました。私たちの人生にもさまざまな事が起こりますが、マリア様のようにあらゆる出来事を通して働いておられる神の御業に思いを馳せて、その御手のあとを読み取りながら、平静な信頼の心をもって歩んで行きたいものです。不安と挫折に陥れる出来事に満ちている今の不確実な世界の中で、目前に生起する事柄や現象に捕らわれてしまうと、希望は容易に見失われます。しかしその背後に隠された神の御計画と御業が読み取れるなら、あらたな希望を見出して、未来に立ち向かって行くことができます。神はマリア様に対すると同じように私たち一人ひとりにも偉大なことを計画され、使命を与えてそれを成し遂げさせたいと望んでおられます。日々接するすべての人にキリストをもたらすことです。マリアのように、今を嘆かず、未来を思い煩わず、ただみことばを「心に納めて思い巡らし」、それに従おうとしているならば、マリアのように「キリストを世に生み出す者」、「人びとにもたらす恵みの器」となれるのです。「そうなれますように」との願いをもってこの一年を主にお捧げして、マリア様と共に歩んで行きたいものです。聖母マリア様が私たちに主イエスへの道を示して、強く導いてくださいますように。(以上)

講話「レジオ マリエはこれから」より抜粋

2010.4.10 傘木澄男神父様 講話要旨

マリア崇敬 (信心)

- マリアの崇敬すべての信心の中で最も重要なものの一つである。これは啓示に基づくものであり、人間が考え出したものではないことを強調すべきである。
神がマリアを私たちにお与え下さったことは聖書から明らかである。すなわち、公生活のはじめ、カナの婚宴での最初の奇跡。ここで神は、マリアをイエスに取り次ぐ者として示される。そして公生活の最後、マリアはヨハネとともにイエスの十字架の下に立たれる。そこで、ヨハネはキリストの十字架によって救われる新しい人類(教会)の代表として、マリアはその教会を十字架上のキリストとともに生み出す母として描かれている。
- 神がイエスの他にマリアを与えられたのは、イエスだけでは足りないからではなく、どんな弱い人でもイエスのもとへ来られるように、もうひとつの台のように、配慮して下さったのである。神が用意して下さったマリアを無視するなら、それは神への重大な不敬であろう。マリア崇敬を教会の中で絶やすことなく守っていくことは、レジオマリエの唯一の存在理由となってもいいと思うくらいに意義のある大事なことだと思う。多くの信者の中でマリア崇敬が低調になっていくのは、小教区の信仰生活においても大きなマイナスだと思う。小教区の霊性向上の為にレジオに期待されるものは大きい。

※ お仕事については、今年の「すみよし」イースター号に記載しています。
また、そのイースター号で、賛助会員・活動会員に入会をお勧めしましたところ、賛助会員に2名の方が入会して下さいました。

[目次](#)

《仁川教会の皆様をお迎えして》

梅雨明け後の 7 月 19 日（月）海の日 の午後猛暑の中、仁川教会の巡礼の皆様をお迎えしました。

水浦征男神父様を始め 30 余名の方々は、たかとり教会を訪問後 JR 新長田から住吉へいらっしゃいました。毎年海の日 にバス旅行と徒歩巡礼を交互になさっている由。先ず、聖堂で水浦神父・赤波江神父様からご挨拶。其の後ロザリオの祈りと日本 26 聖人の祈りを捧げて集会室へ移動。参加者一同冷たいお茶とおしゃべりで時を過ごしました。現地解散で元気にお別れを致しました。（編集部）



バザー手芸の仕事

9 月より毎週火曜日・午後 1 時半から、バザー手芸のお仕事をしております。皆さま、ご協力お願いいたします。

[目次](#)

《図書コーナーより》

◎「西洋絵画のひみつ」

藤原えりみ 著
朝日出版社 発行

「海外旅行に出かけると、多くの人が美術館やキリスト教会の聖堂を訪れることと思います。」で始まるこの本は、宗教画が多く、よく解らないと感じられる方々のために、キリスト教の歴史や聖書の物語を説明し、印象派以前の西洋美術が聖書のさし絵だったと考える事によって親しみを持てるのではないかと、著者はその「ひみつ」を明かすのです。

一般の方々向けの本ですが、名画も見方を変えれば、なるほど、面白いと思えてきます。

◎「福音宣言」

晴佐久昌英 著
オリエンス宗教研究社 発行

～キリストから神のことばを語りかけられてキリスト者となった者が、キリストとともに神のことばを語りかけ、すべての神の子に神の愛を現実のものとする事。これを「福音宣言」と呼びたい。～“プロローグ”より

「福音宣言」と言っても、何か難しく新しい主張を宣言しようとしているのではなく、例えば困窮している方がいれば、その方に対して「主よ、私には何も出来ません。あなたご自身が私を通してこの方に語りかけ、救って下さい」と祈り、何らかの形で神の愛を語る事が出来れば、それが「福音宣言」であると著者は言われます。「福音宣言」は、いわゆる「福音宣教」と本質的には同じですが、福音を伝えることを全キリスト者が自らの口で伝えて行こうというものです。

◎「目からウロコ 聖書の読み方」

来住英俊 著
女子パウロ会 発行

80頁足らずの新書版です。最近主日のミサで読まれた「善きサマリア人」、また「マリアとマルタ」の話を挙げて述べられています。

『みことば』は集中豪雨ではなく、地上に降る穏やかな雨のようにあなたの心に沁み込んでいきます。ときには冷たい雪のようによそよそしく感じられますが、いつか暖かい日差しに溶けて地面を潤すのです」としめくられています。

「すみよし」でご紹介している本は
全て2F図書コーナーにございます。
どうぞご利用くださいませ。

[目次](#)

《後 記》

今年はマザーテレサ生誕 100 年にあたり、記念の写真展や映画、本などに接する機会が多くありました。ある本の中で、マザーテレサが「あなたの国のカルカッタを見つけてください」と言われているのに、とても心を動かされました。自分の身のまわりにも、カルカッタの現実が山ほどあるのです。

うだるような暑さの中で迎える被昇天の祝日は、マザーの顔に刻まれた深いしわの一つ一つが、ゆるぎない信仰と祈りによって支えられ、喜びとなった証しであるのを黙想するのにふさわしい日のように思っています。

(Y)

久しぶりに舞鶴に行ってきました。引揚記念館では、展示された写真や絵、品々を見る度に心が震えます。厳寒の地シベリアで、わずかの食料とぼろ同然の防寒着に身をつつみ、過酷な労働に携わった捕虜の兵士達。帰って来られた人と彼の地で墓標となった人。船が入る度にもしやと待ち続けた家族・・・舞鶴湾を一望する丘にのぼり、引揚栈橋を眺めながら「あー、母なる国よ」と祖国を夢みた人々を思いました。(この夏、平和旬間ではりゅうりえんれんさんの事が読めます)。又、赤れんが博物館に展示されたあらゆる時代、場所のれんがの中にはアウシュビッツとベルリンの壁のものも。次時代を生きる新しい命の為にも平和な時を過ごせるこの国の今を守りぬかなければ・・・すぐ近くの海上自衛隊の港では迎撃ミサイルや 2 基の主砲、たくさんの魚雷をつんだ護衛艦が一般公開されており、この[平和]がどれほど不確かなものかをみた思いがいたしました。

(T)

「すみよし」第 181 号

発行日：2010・8・15

発行責任者：赤波江豊神父

編集：広報チーム

発行所：神戸市東灘区住吉宮町

2-18-23

カトリック住吉教会

T E L：078-851-2756

F A X：078-842-3380

<http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp>

製版・印刷：信徒有志



[目次](#)